

(第2次変更)

総 合 整 備 計 画 書

長野県 千曲市 おおたわらよこて 大田原横手辺地

辺地の人口 98人：面積 13.5K㎡

1. 辺地の概況

- | | |
|--------------------|----------------|
| (1) 辺地を構成する町又は字の名称 | 千曲市大字桑原大田原横手地区 |
| (2) 地域の中心の位置 | 稲荷山公民館大田原分館 |
| (3) 辺地度点数 | 110点 |

2. 公共的施設の整備を必要とする事情

当該地域は、市の中心部から約11km離れ、標高差400m（標高750m）の遠隔高地に集落が形成されており、地理的要因により地域の経済的な支えとなる産業も育ちにくく、自然・経済・交通・文化的諸条件に恵まれない。

本計画により公共的施設、各種事業の整備拡充を行い、他の諸地域との生活文化水準の格差を是正する必要がある。

(1) 市道上日向3号線他1路線道路改良及び水路改修事業

当該路線は幅員が狭い坂道となっており、隣接する私有地とは段差があるため、通行に支障をきたしている。また、冬季の積雪が多い本地区において、除雪の際にも幅員の狭さが起因となり大変危険な状態にあることから、幅員4.0mへの道路拡幅を実施し、災害時であっても安全・円滑に通行（避難）できる道路環境を整備する。併せて同路線と連続する市道日向線について、漏水等もみられ、傷みの激しい道路排水路の改修を併せて実施することで、道路施設の予防保全（長寿命化）を図る。

(2) 林道整備事業

当該地域において、林道は他地区と繋がる重要な生活道路となっている。各林道の整備は地域住民の要望であり、災害時において当該地区が孤立しないよう整備を行う必要がある。

① 林道不動滝線橋梁修繕事業

経年劣化のため橋梁の健全度調査により、補修が必要との判定が出ており、公共構造物の長寿命化のため、補修工事を行う。令和4年度から同様の調査で補修が必要と判定が出た箇所は計画的に補修を行っている。

② 林道古家線法面整備事業

当該路線は、大田原地区と桑原西区とをつなぐ重要な生活道路であり、県道を除く唯一の舗装道路である。岩がもろい箇所、また、土砂が流れやすくなった箇所が現地

調査の結果判明しており、危険なため計画的に法面整備を行う。

③ 林道不動滝線法面整備事業

当該路線は、桑原西地区から水道の浄水場や水源地へつながる道路であるだけでなく、樺平保健休養地や麻績村・長野市大岡方面へ通じる路線となっている。岩がもろい箇所、また、土砂が流れやすくなった箇所が現地調査の結果判明しており、危険なため計画的に法面整備を行う。

(3) 農業機械化推進事業

当該地区の主要農業である稲作は、平成 12 年度に購入したコンバイン・乾燥機で営農を維持しているが、経年劣化による故障が頻発しており、営農継続のため早期の更新が必要である。また、高齢化が進み、新たな担い手を確保するために、より効率的な営農ができるよう新たにトラクター・ドライブハローを整備する必要がある。

現在農機・乾燥機を格納している倉庫について、公道からかなり奥まった場所にあり、倉庫自体も手狭であることから、営農を効率的に行い、今計画で整備する農業機械を保管するため、公道に接する土地に新築する。（地権者了解済み）

(4) 合併浄化槽設置補助事業

当該地域は遠隔高地に位置し、公共下水道への取り込みは難しく、また小規模集落のため農業集落排水の事業化も不可能であり、市の下水道計画では計画外地域としたことから、合併浄化槽対応地区として各世帯個人で浄化槽を設置することとなっている。

しかし、当地域は辺地のため高齢者世帯が多いことから、多額の個人負担を伴う浄化槽設置は進まず、通常の補助制度では同様の浄化槽対応地区に比べ今後も普及率の向上は難しいと予測される。

こうした地理的状況を考慮し、辺地外の公共下水道等対応地域との格差を是正するため、設置世帯に対して、当該辺地地域独自の補助を行う。

(5) 市道大田原西線他 1 路線道路改良事業

当該路線は幅員が狭い道路となっており、通行に支障をきたしている。また、冬季の積雪が多い本地区において、除雪の際にも幅員の狭さが起因となり大変危険な状態にあることから、幅員 4.0m への道路拡幅を実施し、災害時であっても安全・円滑に通行（避難）できる道路環境を整備する。併せて同路線と連続する市道日向線について、道路舗装の傷みが激しいことから路面補修を併せて実施することで、道路施設の予防保全（長寿命化）を図る。

(6) 稲荷山公民館大田原分館施設整備（更新）事業

当該施設は遠隔高地の大田原地区の中心的な公共的施設として昭和 56 年に建設され 43 年が経過している。経年劣化により屋根や外壁が傷んでおり、耐用年数を超えているため改築の必要がある。

また、災害時の避難所としての防災機能や減少している若者等の移住を見据えたコミュニティ施設としての機能も兼ね備えた公民館の建設を進めていくことで、大田原地区の

活性化を図る。

3. 公共的施設の整備計画

令和6年度から令和10年度まで5年間

(単位：千円)

施設名	事業 主体	事 業 費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
			特定財源	一般財源	
市道上日向 3 号線 他 1 路線道路改良 及び水路改修事業	千曲市	7, 000	0	7, 000	7, 000
林道不動滝線 橋梁修繕事業		10, 000	0	10, 000	10, 000
林道古家線 法面整備事業		51, 400	0	51, 400	51, 400
林道不動滝線 法面整備事業		52, 800	0	52, 800	52, 800
農業機械化 推進事業		26, 700	0	26, 700	26, 700
合併浄化槽 設置補助事業		12, 207	1, 794	10, 413	10, 400
市道大田原西線他 1 路線道路改良事 業		47, 000	0	47, 000	47, 000
稲荷山公民館大田 原分館施設整備 (更新) 事業		170, 000	0	170, 000	170, 000
合 計		377, 107	1, 794	375, 313	375, 300